

小学校

教科【生活科】

単元 2年【生きものはかせになろう】

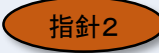
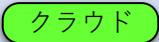
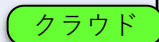
主体的・対話的で
深い学びのポイント

データを共有して交流することで、互いの考えを理解したり、自分の考えを広げたりしながら学びを深めることができる。

ICT活用のポイント

大型提示装置を使って視覚的に既習内容の振り返りを行ったり、課題の配布や情報共有をすることで、学習内容の確かな定着に繋げる。

使用するICT機器	Chromebook（1人1台端末）	使用するアプリ・クラウドサービス等	Google Jamboard, カメラ
クラウドの活用	☐ 教材の配布・回収等 ☒ 資料等の共有 ☒ 生徒の学習状況の把握 ☐ その他		

本時のねらい	身近な自然について、思ったことや感じたことを表現する。		
	主な学習活動 (学習場面)	ICTの活用・留意点等	評価
導入	○既習の内容を ふり返る。 一斉 ○本時の課題を 確認する。	 大型提示装置に画面に児童の撮影した写真を提示して、前時の活動の振り返りを行う。   	
展開	○課題を把握する。 一斉 ○撮影した写真をJamboardに貼り付けてコメントを付ける。 個別 ○グループで見合って、お互いに交流しながらコメントつける。 協働	 Classroomにアクセスして、課題を確認する。   グループで共有されたJamboardに、写真を選んで貼り付け、それに対するコメントを、付箋機能を使って手書き入力で入力していく。    グループのJamboardを見て、写真やコメントに対して、さらにコメントを付けながら交流を行う。   グループで取り組んだ成果を大型TVに映して交流する。  	ここで評価 【思】 自然について、思ったことや感じたことを表現している。
終末	○本時の振り返り。 個別	 振り返りページに振り返りを行う。 	

※ 表内の指針1～6は、「ICT活用授業指針」8ページにあるICT活用授業の目指す姿1～6を表しています。

※ ICTの導入が目的化しないように、ICTを活用する場面と活用しない場面を効果的に組み合わせることが重要です。

※ 評価の観点 【知】＝知識・技能 【思】＝思考・判断・表現 【態】＝主体的に学習に取り組む態度